

# 第 21 回日本薬物動態学会ワークショッププログラム

## 第一日目:4月12日(木)

8:55~9:00 はじめに  
岩崎一秀 (ファイザー)

### 基調講演

座長: 諏訪俊男 (共立薬科大学)

9:00~10:00 システムバイオロジーと創薬  
秋山泰 (産業技術総合研究所 / 東京工業大学)

### テーマ1 臨床開発の効率化 (臨床開発におけるボトルネックとその解消)

座長: 泉高司 (三共) 河野喜郎 (大正製薬)

10:15~11:00 個別化医療における薬物動態研究の役割  
山崎浩史 (昭和薬科大学)

11:00~11:45 トランスポーター遺伝子変異と薬物動態  
杉山雄一 (東京大学)

11:45~13:15 昼食

座長: 東純一 (大阪大学)

13:15~14:00 Biomarker 臨床における探索と応用  
Jhon L. Allison (Veeda Clinical Research)

### テーマ2 創薬段階における加速化 (創薬段階におけるボトルネックとその解消)

座長: 堀江透 (ディスリー研究所) 堀部秀俊 (武田薬品工業)

14:00~14:45 動物における分子イメージング最先端  
塚田秀夫 (浜松ホトニクス)

14:45~15:30 非臨床試験におけるバイオマーカーの探索-臨床試験へのブリッジング-  
戸塚善三郎 (JCL バイオアッセイ)

15:30~15:45 休憩

座長: 久米俊行 (田辺製薬) 布施英一 (協和発酵)

15:45~16:30 *In silico* ADMET  
Scott Boyer (Astrazeneca)

16:30~17:15 *In Silico* 関係で創薬に係わる最近の話題  
梅山秀明 (北里大学)

17:30~19:30 懇親会

# 第二日目:4月13日(金)

## 基調講演

座長：池田敏彦（三共）

9：00～10：00 Novel First-in-Human Studies: Pros and Cons  
Richard Lalonde（Pfizer USA）

10：00～10：15 休憩

## テーマ1 臨床開発の効率化（臨床開発におけるボトルネックとその解消）

座長：石川智久（東京工業大学）、須藤賢一（第一製薬）

10：15～11：00 臨床における遺伝子変異と副作用発現  
横井毅（金沢大学）

11：00～11：45 ゲノム薬理学にもとづく医薬品適正使用-「その意義は？」-  
東純一（大阪大学）

11：45～13：15 昼食

座長：五十嵐隆（日本ベーリンガーインゲルハイム）、野口清（アステラス製薬）

13：15～14：00 ファーマコゲノミクスと医薬品の承認審査  
宇山佳明（医薬品機構）

## 基調講演

14：00～15：00 Bioanalytical method validation  
Vinod P. Shah（元FDA）

15：00～15：15 休憩

## テーマ2 創薬段階における加速化（創薬段階におけるボトルネックとその解消）

座長：岡崎治（第一製薬）、馬場隆彦（塩野義製薬）

15：15～16：00 Chemically reactive metabolites  
Barry Jones（Pfizer UK）

16：00～16：45 探索段階における物性研究の役割・重要性  
湯田真道（アステラス製薬）

16：45～17：30 トランスポーターを介する薬物相互作用評価法  
設楽悦久（千葉大学）

17：30～17：35 おわりに  
岩崎一秀（ファイザー）